

平成27年

地域計画書



機殿まちづくり協議会

目 次

- 1、 機殿地区の概要…………… 2 ページ
 - (1) 地理
 - (2) 歴史・観光
 - (3) まちづくり協議会の概要
 - (4) 行事
 - (5) 年代別人口の推移
 - (6) 地域の主な課題
- 2、 地域の将来像…………… 5 ページ
- 3、 地域の目指す姿…………… 5 ページ
 - (1) 歴史部門
 - (2) 健康福祉部門
 - (3) 環境エコ部門
 - (4) 安全部門
 - (5) 農業部門
- 4、 まちづくりの具体計画…………… 6 ページ

1、 機殿地区の概要

(1) 地理

松阪市の最東部に位置し、櫛田川と祓川の間に整備された農地が広がり、西方には伊勢富士（堀坂山）がそびえ、その山並みの素晴らしさは観る人になんともいえないインパクトを与えています。伊勢平野の田園地帯の中にあり、両川に囲まれ自然が豊かに広がった心癒される「まち」です。

(2) 歴史・観光

神代の昔から現在に至るまで、毎年2回の古式通り麻布を織ることが地元の人の手で営まれ、伊勢神宮へ納める伝統神事があります。「神麻績機殿神社（上機殿）」が当地区「機殿（はたどの）」の由来となっています。皇室の御参拝もあり、伊勢神宮を支える大きな所管社であり、自然の宝庫でもあります。

そして、当地区は伊勢暴動（※1）の発祥の地であり、史実上偉大な功績を残された福井文右衛門（※2）、藤八翁（※3）の碑もあります。

※1 伊勢暴動…明治のはじめ、地租改正で資金を集めようとした政府に対し、農民の苦難をいち早く察知した大庄屋の九左衛門が、減税の嘆願書を出した。区長は県の会議に嘆願書を出さず却下した。その後すぐに、魚見から暴動が起こった。これを機に、暴動は各地に広がり、1年後には地租が改正軽減された。九左衛門は、暴動には関わっていなかったが、嘆願書のことから首謀者とみなされたのである。

※2 福井文右衛門…藤堂藩士、保津にあった代官。農地の大事な水（水路）の前に立ちただかる当時の権力を誇る神宮領下機殿に、水の確保のために我が命を掛け神宮領内に水路を掘らせて、農民の苦難を救った人。寛永12年。

※3 藤八翁…魚見の百姓。大河櫛田川の氾濫に苦しめられていた魚見の農民等に、切れない堤防を作るには、人柱を立てるしかないと提案し、自ら人柱となり地域を救った人。文政5年。

(3) まちづくり協議会の概要

機殿地区の住民協議会は井口中町、中河原町、腹太町、六根町、保津町、魚見町、新開町、川島町、東久保町の九つの自治会で構成されています。地域内での活動は、公民館・自治会・各種団体で構成している農業振興部会・健康福祉部会・環境エコ推進部会・安全部会が中心となり「機殿の農業をなんとかせなアカン」「機殿のみんなを元気にしたい」「豊かにエコをすすめて機殿の環境を守りたい」「機殿の安全・安心を守るぞ!」を合言葉に改善を目指します。

そして何よりも少子高齢化に対して起こりえる色々な問題に、誰もが安心して安全で快適に過ごせるまちづくりを目指します。

(4) 行事

小学校児童を対象とした有機米農業体験、球技大会、健康に関する講座・講演会、農作物の収穫体験、しょんがい踊りや音頭の保存と納涼まつり、75歳以上高齢者に対しての長寿を祝う記念品配布、市民体育祭、防災訓練、そして公民館祭りと文化祭等、行事が数多くあります。

そして、東部管内防災ネットワークにて南海トラフ大地震及び津波等災害に対して連携協定を締結して災害に備えています。他にも東部管内ゲートボール大会等多種多様な行事にも参加しています。

(5) 年代別人口の推移

年 月	機殿地区の人口	年少人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
2000年10月	1,622人	203人	1,032人	387人
2005年10月	1,533人	152人	969人	412人
2010年10月	1,454人	148人	870人	436人

(国勢調査から)

(6) 地域の主な課題

【歴史分野】

- ・地域を知る古老が少なくなり、歴史や文化が若いものに受け継がれてきていない。また、受け継ぐ機会を作らずに来ている。
- ・今わかっている人のいる間に、学習・記録していくことが求められる。
- ・伝統的行事などが、生活に追われてか忘れ去られていつている。意義を議論している暇もない。
- ・自分たちで作ること・考えること・工夫していくことの楽しさをみんなで共有していける機会が少ない。

【健康福祉部門】

- ・子どもたちが遊ぶのに、安全な広場が足りない。
- ・若い世代の地域との関係が希薄になっている。
- ・地域においてどのようなニーズがあるのか、どのようなサービスが求められているのか把握できていない。
- ・行事等を開催するも、参加者がいつも限られたメンバーになってしまっている。
- ・便利な施設がなく若い世代が寄り付かない。

【環境エコ推進部門】

- ・地域内に一級河川櫛田川がありますが、現状として竹林や雑木が茂っており、野生動物が増えつつあります。景観面でも防災面でも問題があり、竹や雑木等を伐採し、もっと有効利用してはどうか。
- ・少子高齢化時代となり、地域内に空き地や空き家が見られます。環境保全のために対策が必要。

【安全部門】

- ・地域には高台もなければ小学校以外に三階以上の建物もない。水害や津波の時、子供やお年寄りたちが安心して避難できる高台や防災センターを地域に作りたい。
- ・櫛田川堤防も補強の必要な部分が有り、早急な対策を求め安心な地域にしたい。別途要望書を提出したい。
- ・堤防間にかかっている橋があり、増水時には道路が寸断するので改善を求めている。
- ・一斉緊急放送ができない地区もあり、改善をしていく必要がある。

【農業部門】

- ・今の子どもたちは、米がどうやってできているのか知らない。
- ・地元の人へ地元の作物の良さ等があまり伝わっていない。
- ・地産地消料理教室を実施しているが、参加者が固定されている。
- ・家庭菜園づくりに関して交通の便や土地の所有権の問題等がある。

2、地域の将来像

**人が優しいまち！
人にも優しいまち！！
これが「は・た・ど・の」です。**

(将来像の考え方)

誰もが安全、安心で快適に暮らせるまちづくり、地域の特徴を活かしたレクリエーション施設やインフラ整備、そして地域住民が協同して子どもたちを豊かに育み、お互いが支え合う環境づくりを目指します。

3、地域の目指す姿

(1) 地域の歴史と文化を継承できるまち《歴史部門》

郷土の歴史を学び、歴史を語る人の発掘、あるいは興味のある人を育成するなど、歴史を若い世代に教え伝えていくことができるまちづくりをします。

(2) 豊かなふれあいがあり支えあえるまち

高齢者も安心して住み良いまちづくり

子どもから高齢者までずっと住み続けたくなるまち

《健康福祉部門》

機殿の良いところ（習慣・気質）を伸ばし、事業・イベントについて必要に応じ内容の見直し・集約ができる場を設けるなど、誰もが住みつけたくなるような魅力的なまちづくりをしていきます

(3) 自然環境を守り美しいまち《環境エコ部門》

自然を守り、住民に環境保護活動の啓発や意識付けをすることで、住みやすい美しいまちづくりをしていきます

(4) 安全と安心を考えることができるまち《安全部門》

『自助』『共助』力を高め、地震・水害等の災害から身を守ることができるまちづくりをします。また、交通事故、犯罪から住民を守るまちづくりをしていきます。

(5) 農業を守り食の文化を楽しむまち《農業部門》

地元の作物の良さを広めるなどして、機殿の住民に地元の魅力を知っていただき、親しんでもらえるようなまちづくりをします

4、まちづくりの具体計画

主体

自主：地域内の組織で取り組む

協働：地域外の組織団体と共に取り組む

(1) 地域の歴史と文化を継承できるまち《歴史部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定 期日	備考
1. 地域の歴史 文化を学ぶ 事業	歴史的偉人の語り部育成の研修等を行う	協働	中期	H29～ 継続	アドバイザーの活用
	地域文化の後継者を育成する	協働	中期	H27～ 継続	アドバイザーの活用
2. 歴史文化に 親しむ事業	イベントのあり方も見直し実行する	自主	短期	H27～ 継続	アドバイザーの活用
	小講座を実行する	自主	短期	H27～ 継続	
3. ふれあい広 場づくり事 業	大人と子供が楽しめる場を作る	自主	短期	H27～ 継続	

(2) 豊かなふれあいがあり支えあえるまち《健康福祉部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
1. 地域のつながりあうしくみづくり	あいさつ運動の推進 (オアシス運動)	自主	短期	H27～ (継続)	
	地域交流のために若い人、多様な人たちが参加しやすいイベントを開催(子ども、若い人を中心に)		短期	H27～ (継続)	4回/年
	住民同士の見守り活動をする(漏れがなく緊急時に役立つ)防災避難訓練、徘徊模擬訓練等の実施	自主	短期	H27～ (継続)	1回/年

高齢者も安心して住み良いまちづくり《健康福祉部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
1. 生活支援	生活サポートシステムの構築(独居老人や障害者世帯等の買い物の代行、電球の交換、雨漏りの修理など)	自主	中期	H29～ (新規)	12回/年
	介護者の集い(在宅サービスを継続するために家族の負担軽減等の支援、認知症カフェ等)		中期	H27～ (継続)	1回/年
	見守り隊の育成強化(認知症サポーター養成講座、高齢者安心見守り隊の養成講座とフォローアップ講座等を自治会ごとに実施)	協働	中期	H27～ (継続)	1回/年
2. 健康(交流)作り	配食サービス 友愛訪問(交流、安否確認)	自主	短期	H27～ (継続)	7回/年 4回/年
	高齢者の集い(お食事会、演芸会)	自主	短期	H27～ (継続)	1回/年

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
	和める場所の設置運営の強化(サロン、認知症カフェ等)	自主	中期	H27～ (継続)	1回/月

子どもから高齢者までずっと住み続けたいなるまち《健康福祉部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
1. 働く場づくり	(主たる産業である)農業従事者を持続、増加できるような仕組みづくり(先進地の視察研修等)	協働	長期	H28～	
	一度機殿を離れた人が、また帰って来られるような場づくり		長期	H28～	
	コミュニティビジネスへの取り組み		長期	H28～	
2. 若い世代の定住率アップ	新婚等若い世代、子育て世代が機殿にもっと多く住み続けたいと思う環境づくり(幼稚園、小学校教育の児童生徒を増やす) (昔からの習慣や町内のしきたりを見直す)	協働	中期	H30～ (継続)	
	出会いの場づくり(婚活イベント等)				
	公共のインフラ整備(街路灯、下水道等)	協働	中期	H28～	行政の助成事業を利用
	商業、医療施設等へのアクセス向上		中期	H28～	
3. 地域の組織の効率化	役員を選出、体制について無理なく進められるようにしたい(組織の再構築、集約、整理)	自主	短期	H27～	

(3) 自然環境を守り美しいまち《環境エコ部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
1. クリーン作戦実施	環境美化と環境教育を目的に、櫛田川の清掃活動を行う。フラワーロードを作り調査開始	自主	短期	H27～	
2. ポイ捨て看板の設置	地元小学校や老人会と連携して、オリジナル看板を作り設置する	自主	短期	H28～	
3. 生ゴミの堆肥化	元気高齢者の介護予防と生きがい対策を兼ねて、生ゴミを堆肥化して家庭菜園作り	自主	中期	H30～	
4. 癒しの場作り	櫛田川河川敷に、雑木を利用した公園のような憩いの場を作る	協働	中期	H28～	

(4) 安全と安心を考えることができるまち《安全部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
1. 防災体制	災害時の組織体制を見直し明確にする	自主	短期	H27～ (継続)	
	危険個所や避難ルート地図等の作成	自主	短期	H27～ (継続)	東部防災ネットワーク
	自主防災隊の活動内容、指針を明確にする	自主	中期	H27～ (継続)	
2. 自主的な防災意識の高揚	各家庭での防災の取り組み意識を高める	自主	中期	H27～	
	防災カルテの作成	自主	短期	H27～ (継続)	
3. 避難場所の確保	地域内に、安心して水害からも避難できる高台を作る	協働	長期	H28～	
4. 交通安全	登下校時の見守りを充実する	自主	中期	H27～	

事業名	事業内容	主体	期間	予定時期	備考
5. 防犯	犯罪から通学生、住民を守るためのパトロールを実施	自主	短期	H27～	

(5) 農業を守り食の文化を楽しむまち《農業部門》

事業名	事業内容	主体	期間	予定期日	備考
1. 楽しい農業 農村創り	地域の農産物を使い料理教室を実施すると共に付加価値の追求	自主	短期	H27～	
	農業祭を行い機殿から他地域へ存在を発信する	協働	短期	H27～	
	野菜栽培の研修会を行う	自主	短期	H27～	
2. 農地の景観をはかる	遊休農地及び道路、水路、法面等へ四季の花を植栽	自主	中期	H28～	